

要 望 書

平成 1 6 年 1 0 月

関 西 経 済 連 合 会
大 阪 商 工 会 議 所
神 戸 商 工 会 議 所
大 阪 市
神 戸 市

「スーパー中枢港湾・阪神港」の実現に向けて

関西都市圏は、人口 2,100 万人を超えるわが国第二の経済圏を形成しており、神戸港・大阪港は、関西都市圏の経済活動を支える経済・産業基盤として、かねてより重要な役割を担ってきました。

しかしながら、東アジア諸国の急成長や経済産業のグローバル化に伴い、臨海部に人口や産業が集積する近畿圏の相対的な地位も低下してきております。

こうした中、世界トップクラスの国際物流サービスの提供を図り、物流コスト削減による企業の競争力強化、新たな産業立地や雇用創出などを目指すスーパー中枢港湾プロジェクトの実現は、関西経済の復権にとって不可欠であり、在関西企業も切望しているところです。

このため、官と民が一致団結して、スーパー中枢港湾「阪神港」の実現に向け邁進していくとともに、相互補完関係にある神戸港・大阪港が、より一層の連携を深め、相乗効果を高めていくことが必要不可欠であります。

上記のような状況を踏まえ、国におかれましては、国家プロジェクトとしての「スーパー中枢港湾プロジェクト」の実現に必要な、大水深コンテナターミナルの整備やコンテナ物流の円滑化に資する情報システムの構築など、ハード・ソフトの両面にわたる施策について、十分なお配慮をお願い申し上げます。

以 上